

公益社団法人 日本水産学会
令和3年度第1回理事会議事録

1 開催された日時 令和3年3月30日(火)13時00分～15時24分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数 総数17名, 定足数9名

4 出席理事総数 17名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二, 吉崎悟朗, 潮 秀樹, 八木信行, 廣野育生, 山下 洋, 中田 薫
(第3号議案審議中13時55分に退席), 横山芳博, 佐野元彦, 越塩俊介(第
1号議案審議中13時07分に退席, 第4号議案審議中14時18分に着席),
木村暢夫, 落合芳博, 小島隆人, 平塚聖一, 澤山茂樹, 野田幹雄, 大嶋雄治

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男, 舞田正志, 野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

坂本 崇, 二羽恭介, 小山寛喜, 澤山英太郎, 甘糟和男, 長阪玲子

7 出席オブザーバー

(Web会議システムによる出席)

清水宗敬(令和3年度秋季大会総務)

8 議 案

決議事項

第1号議案「令和3年度秋季大会」の件

第2号議案「令和2年度事業報告」の件

第3号議案「令和2年度貸借対照表, 正味財産増減計算書, 財産目録及び監査報告」の件

第4号議案「議決権行使書」の件

第5号議案「水産利用懇話会委員会委員の交代」の件

第6号議案「選挙管理委員会委員の選出」の件

第7号議案「水産学若手の会委員会委員の交代」の件

第8号議案「東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)の解散」の件

第9号議案「令和4年度春季大会の開催日程, 場所, 大会委員長」の件

第10号議案「第18回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」の件

第11号議案「臨海生物適応ネットワーク共同研究拠点申請への要望書」の件

第12号議案「入会承認」の件

第13号議案「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及びWeb会議用装置からなるWeb会議システムにより, 出席者の音声, 映像が即時に他の出席者に伝わり, 出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行に

ついて説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案「令和 3 年度秋季大会」の件

令和 3 年度秋季大会総務担当の清水会員から、令和 3 年度秋季大会開催方法の原案について、次のとおりの説明があった。

- 1) 開催期間は 9 月 13～16 日、ポスター発表は行わず対面による口頭発表のみとする。
- 2) 高校生はオンラインによるポスター発表とする。
- 3) 7 月末に対面実施の可否判断を行い、中止の場合には見なし開催とし、参加費は返金しない。
- 4) 大きめの会場（約 100 名収容）を 4 つ設置し密集を避け、感染リスクを避けるため懇親会は行わない。
- 5) 参加費は例年より 1000 円程度安く設定する。

本議案について、以下の質疑があった。

金子会長「大会の申し込み時期はいつになるのか？」

清水会員「申し込みの締め切りは大会開催の可否判断の前になる。」

金子会長「大会運営の委託については、必要に応じて合い見積もりを取ってもらう。」

吉崎理事「参加費は例年どうおり設定する考えもあるのでは？」

木村理事「開催できない場合には参加費を返金しないこと、また 1000 円程度であれば参加費を戻しても影響が少ないことも考えて設定した。」

吉崎理事「金額設定の配慮に感謝する。」

八木理事「ここ数年財務状況はよいので、赤字が出ても問題ない。」

木村理事「大会後、返金が少なくなっても構わないか？」

八木理事「返金が少なくても問題ない。」

事務局「コロナの影響で年間の支出が減少しているので、黒字がでないよう使ってもらった方が学会としても有難い。」

金子会長「予算的には問題ないので、コロナ対策も前面に出して開催してもらいたい。」

木村理事「収容人数の多い 4 会場を確保し、コロナの感染対策も取りながら実施する予定にしている。」

坂本幹事「見積書で参加登録機能の公開期間が 1 ヶ月では短いのでは？」

清水会員「確認のうえ、問題のないよう対応する。」

審議の結果、出席理事全員一致で原案を可決した。

第 2 号議案「令和 2 年度事業報告」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

審議の結果、出席理事全員一致で原案を可決した。

第 3 号議案「令和 2 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び監査報告」の件

八木財務担当理事から、令和 2 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について原案の説明があった。本議案について、以下の質疑があった。

金子会長「会議費が安くなった理由は？」

八木理事「お弁当代とお茶代が掛からなくなっている。」

小島理事「固定資産の科目に一部間違いがある。」

八木理事「適宜修正する。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ、出席理事全員一致で可決した。

第4号議案「議決権行使書」の件

吉崎総務担当理事から議決権行使書について、議決権行使の導入、インターネットによる回答、提出期限を5月10日正午までとするとの原案の説明があった。本議案について、以下の質疑があった。

舞田監事「書面の委任状では捺印が必要だが、インターネットで提出する場合は不要になるのか？」

吉崎理事「インターネットの場合、パスワードを使っ行ってもらう。本方法でも法律上問題ないことを司法書士から確認を取っている。」

舞田監事「了解した。」

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第5号議案「水産利用懇話会委員会委員の交代」の件

吉崎総務担当理事から、水産利用懇話会委員会委員の交代について原案の説明があった。

審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[退任] 松永茂樹 [選出] 岡田 茂

第6号議案「選挙管理委員会委員の選出」の件

吉崎総務担当理事から、選挙管理委員会委員の選出について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

委員長 近藤秀裕

委員 壁谷尚樹，澤山英太郎

第7号議案「水産学若手の会委員会委員の交代」の件

潮水産学若手の会担当理事から、水産学若手の会委員会委員の交代について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[退任] 瀬瀬智也 [選出] 中野達也

[退任] 小川大樹 [選出] 岡崎良亮

第8号議案「東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）の解散」の件

吉崎総務担当理事から、東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）の解散について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第9号議案「令和4年度春季大会の開催日程，場所，大会委員長」の件

小島関東支部担当理事から、令和4年度春季大会の開催日程，場所，大会委員長について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

開催日程：2022年3月26日～30日

開催場所：日本大学湘南キャンパス

大会委員長：小島隆人（日本大学生物資源科学部）

第10号議案「第18回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」の件

山下学会賞担当理事から、第18回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 11 号議案「臨海生物適応ネットワーク共同研究拠点申請への要望書」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 12 号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 13 号議案「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

① 第 7 回理事会以降の職務執行の状況

・会長

金子会長 特になし。

・庶務関係

吉崎担当理事から、次の報告があった。

1) 資格喪失の件

2) 令和年度支部幹事の変更

北海道支部 宮園 章 [退会] 佐々木義隆 [選出]

3) 農林水産省 生物多様性影響評価検討会委員の候補者の推薦について

4) 下記の協賛について、共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ 3) を適用した。

① 第 5 回海中海底工学フォーラム・ZERO Online

主 催 海中海底工学フォーラム・ZERO 運営委員会

協 賛 日本船舶海洋工学会 他 7 団体

日 時 令和 3 年 4 月 21 日

場 所 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

② 第 35 回日本キッチン・キトサン学会大会

主 催 日本キッチン・キトサン学会

協 賛 キトサン工業会 他 13 学協会

日 時 令和 3 年 8 月 26 日・27 日

場 所 鹿児島大学郡元キャンパス共通教育棟 3 号館 (鹿児島県鹿児島市)

※状況に応じて開催方法をオンラインに変更することがある

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

廣野担当理事から第 1 回委員会を 3 月 9 日にオンラインで開催し、本年度から日本大学の高井会員が委員長になったとの報告があった。

・財務関係

八木担当理事から、次のとおりの報告があった。

- 1) 平成 3 年度春季大会の東海大会委員長から、初めてのオンライン開催であったため、当初予算よりも経費が掛かり、会場係も学生のアルバイトを止めて海洋大の教員で対応したが、20 万円程度の赤字となったとの連絡があった。

2) 昨年度から支出が減少しているため、財務的には 20 万円程度の赤字であれば問題ないと考えている。

本報告について、以下の意見があった。

金子会長「特殊な事情の中で尽力されて開催されており、また財政的にも余裕があるので何ら問題ないと考えている。」

吉崎理事「オンライン開催のため専門の会社と契約したが、出来る限り経費を抑えて契約しており、また赤字の主な原因は例年に比べて参加者が少なかったためである。」

・編集関係

潮担当理事から、委員会を 3 月 29 日に開催し、東北大学の落合理事が委員長になったとの報告があった。

・学会賞関係

山下担当理事から、次のとおりの報告があった。

1) 審議事項のとおり日本学術振興会賞受賞候補者の推薦を行った。

2) 委員会を 3 月 4 日に開催し、東京海洋大学の岡崎会員が委員長、東京大学の八木理事は副委員長になった。

・シンポジウム関係

落合担当理事から、本日 15 時から委員会が開催されている。

・出版関係

大嶋担当理事から、e-水産学シリーズ第 2 巻「魚類の性決定・性分化・性転換」が出版されたとの報告があった。

・水産技術誌監修関係

佐野担当理事 特になし。

・国際交流関係

越塩担当理事 特になし。

・水産教育関係

山下担当理事から、委員長が東京海洋大学の荒川会員から北海道大学の藤森会員に交代されたとの報告があった。

・水産政策関係

八木担当理事から、次のとおりの報告があった。

1) 委員長が東北大学の片山会員から東京大学大気海洋研究所の牧野会員に交代されたとの報告があった。

2) 3 月 26 日に東日本大震災特別委員会主催のシンポジウムに共催として参画した。

3) シンポジウム後に委員会を開催し、牧野委員長のもと活動方針を議論した。

・水産利用関係

横山担当理事 特になし。

・水産増殖関係

佐野担当理事から、引き続き都木会員が委員長になり、3 月 26 日に懇話会が開催され、北里大学の中村会員が企画担当で 81 名の参加があったとの報告があった。

・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、3 月 26 日に漁業懇話会講演会が開催され、参加者は 94 名あった

との報告があった。

- ・水圏環境関係

澤山担当理事から、3月29日にオンラインで委員会が開催され、令和3年度秋季大会、令和4年度春季大会のシンポジウム、e-水産学シリーズの企画等について議論したとの報告があった。また、野田理事から、次のとおりの報告があった。

- 1) 貧酸素水塊に関するシンポジウムに186名の参加があって、そのうち学会会員以外の参加が105名あり、シンポジウム開催後のアンケート調査でも高い評価が得られ、本テーマに関心が高いことが窺えた。
- 2) 令和3年度秋季大会で研究会が予定されているが、タイトルを変更する可能性がある。
- 3) 沿岸環境関連学会連絡協議会によるジョイントシンポジウムの開催を検討している。
- 4) 大会期間中に同じ内容のシンポジウムが重ならないよう会員から要望があった。

- ・男女共同参画関係

金子会長 特になし。

- ・水産学若手の会関係

潮担当理事から、3/27に委員会をオンライン開催したこと、シンポジウムについては延べ140名の参加があったとの報告があった。また、学部生の参加費無料の申し込みは150名程度の応募があって、50名を選んだとの報告があった。

- ・社会連携関係

横山担当理事 特になし。

- ・将来計画関係

越塩担当理事 特になし。

- ・北海道支部，地域連携関係

木村担当理事 特になし。

- ・東北支部，地域連携関係

落合担当理事から、支部総会を2月10日に一部対面で開催し、定年退職者の特別講演と支部長賞の授賞式を行ったとの報告があった。

- ・関東支部，地域連携関係

小島担当理事から、昨日まで春季大会が開催されたとの報告があった。

- ・中部支部，地域連携関係

平塚担当理事 特になし。

- ・近畿支部，地域連携関係

澤山担当理事 特になし。

- ・中国・四国支部，地域連携関係

野田担当理事 特になし。

- ・九州支部，地域連携関係

大嶋担当理事 特になし。

- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）

金子会長から、JIRCASのマーシー・ワイルダー会員、東京海洋大学の北田会員から企画が提案されているのに加え、その他、ウナギに関する企画の出版が検討されているとの報告があった。

- ・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）

落合担当理事から、理事会シンポジウムが3月26日に開催され、約70名の参加があり、本内容についてe-水産学シリーズにまとめる方向で検討しているとの報告があった。

- ・財務検討委員会（特別委員会）

八木担当理事から、公益社団法人であるため遊休財産が年間の事業費を超えると課税対象となるが、内閣府にコロナの影響で事業費が減少したことを説明すれば課税対象にならないのではとの報告があった。

②その他確認事項

(1) 委任状及び議決権行使書について

吉崎総務担当理事から、決議事項で承認された委任状及び議決権行使書を郵送するので、各支部や各機関等の会員から回答が得られるよう周知いただきたいとの要請があった。

(2) 次回以降の理事会について

吉崎総務担当理事から、次回の理事会を令和3年4月28日13時から開催するとの説明があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15時24分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和3年3月30日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事